

ADVC-200TV 専用
Mac OS X 対応 キャプチャリングソフトウェア

ADVC Controller Ver.1.1

ユーザーズマニュアル

ヤノ電器株式会社

はじめに

このたびは、弊社製ソフトウェア「**ADVC Controller**」をお買い上げいただきありがとうございます。ごさいます。

本製品は、カノープス社製「**ADVC-200TV**」専用の Mac OS X 対応キャプチャリングソフトウェアです。

本製品をご使用の際は、このマニュアルの説明に従ってください。操作が完了したあとも、このマニュアルは大切に保管してください。

なお、このマニュアルに記載しているデスクトップ上に表示される図は、あくまでも例として採用しており、お使いの環境によって表示が異なる場合がありますのでご了承ください。

ご注意

1. 本製品の一部または全部を無断で複製することを禁止します。
2. 本製品の内容や仕様は将来予告無しに変更することがあります。
3. 本製品は内容について万全を期して作成いたしました。が、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気づきの点がございましたら、弊社あてにご連絡ください。
4. 運用した結果については、3. 項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
5. ご使用上の過失の有無を問わず、本製品の運用において発生した逸失利益を含む、特別、付随的、または派生的損害に対するいかなる請求があったとしても、弊社はその責任を負わないものとします。
6. 本製品付属のソフトウェア、ハードウェア、マニュアル、その他添付物を含めたすべての関連製品に関して、解析、リバースエンジニアリング、デコンパイル、ディスアセンブリを禁じます。
7. カノープス、CANOPUS/カノープスおよびそのロゴは、カノープス株式会社の登録商標です。
8. MS、Microsoft、Windows は米国マイクロソフト・コーポレーションの登録商標です。QuickTime は米国 Apple Computer, Inc. の登録商標です。Apple、Mac、Macintosh、Power Macintosh、Power Mac は米国アップルコンピュータ社の商標および登録商標です。また、その他の商品名やそれに類するものは、各社の商標または登録商標です。

警告

・健康上のご注意

ごくまれに、コンピュータのモニタに表示される強い光の刺激や点滅によって、一時的にてんかん・意識喪失などが引き起こされる場合があります。こうした経験をこれまでになされたことがない方でも、それが起こる体質を持っていることも考えられます。こうした経験をお持ちの方や、経験をお持ちの方の血縁にあられる方は、本製品を使用される前に必ず医師と相談してください。



・著作権について

テレビ放送やビデオなど、他人の作成した映像/音声をキャプチャしたデータは、動画、静止画に関わらず、個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。また、個人として楽しむ目的であっても複製が制限されている場合があります。キャプチャしたデータのご利用に対する責任は弊社では一切負いかねますのでご注意ください。

表記について

- ・本書に記載されていない情報が記載される場合がありますので、ディスクに添付のテキストファイルも必ずお読みください。
- ・本書での説明と実際の運用方法とで相違点がある場合には、実際の運用方法を優先するものとします。
- ・本書はコンピュータの基本的な操作を行うことができる方を対象に書かれています。特に記載のない操作については、一般的なコンピュータの操作と同じように行ってください。

マニュアルの本文中の記号について

	操作上、非常に大切なことを説明しています。注意事項を守らないと、重大なトラブルが発生し、データが失われることがあります。
	操作にあたって気にとめていただきたいことを説明しています。操作の参考にしてください。

目次

はじめに	2
ご注意	2
警告	2
表記について	3

Chapter 1 お使いになる前に

ソフトウェアの使用許諾上の制約について	5
・ソフトウェア使用許諾上の制約事項	5
動作環境について	6
ご使用になる時の注意事項	7

Chapter 2 インストール

ADVC Controller をインストールする	8
ADVC Starter の設定を行う	9
・Mac OS X 10.3.x での設定	9
・Mac OS X 10.2.x での設定	10

Chapter 3 ADVC Controller の基本操作

1. ADVC Controller の起動	11
・コントローラ画面について	12
2. チャンネルを設定する	13
3. 映像を見る	14
・テレビ映像を見る	14
・外部機器の映像を見る	14
・DV 機器の映像を見る	14
4. 録画する	15
5. 再生する	16
・最新ファイルを再生	16
・録画ファイルの選択再生	17
・再生時のコントローラ画面について ...	18

Chapter 4 ADVC Controller の設定について

プリファレンス設定について	19
・プリセット - チャンネルを追加する	19
・プリセット - チャンネルを変更する	20
・チューナー	21
・ライン入力	21
・詳細設定	22
- キャプチャ時のオーディオ設定	22
- 録画ファイルの保存先設定	23
メニューについて	24
・キャプチャー：映像設定	24
- 圧縮	25
- ソース	26
- プレビュー	26
・キャプチャー：音声設定	27
- 圧縮	27
- サンプル	27
- ソース	28
- スピーカ	28
・モニターサイズ	29
・ムービー	30
- ムービーデータをビデオデッキや ビデオカメラで再生させる	30

Chapter 5 ADVC Reserver について

予約録画を行う	31
・予約録画に関する注意事項	33
録画予約設定の変更・削除	34
・録画予約の設定内容を変更する	34
・録画予約の設定内容を削除する	35

Appendix 1 こんな時には

こんな時には	36
--------------	----

Appendix 2 サポートとサービスのご案内

サポートとサービスのご案内	38
・カスタマサポートのご案内	38
・オンライン情報提供サービスのご案内	38

ソフトウェアの使用許諾上の制約について

この度は、弊社製ソフトウェア『**ADVC Controller**』をお求めいただき誠にありがとうございます。

ADVC Controllerのご使用にあたっては、「著作権」にかかわる使用上の制約がございますので、あらかじめ以下につきご同意ください。

ソフトウェア使用許諾上の制約事項

1. 本ソフトウェア『**ADVC Controller**』（以下、本製品）に関し、「著作権」と「意匠権」はヤノ電器株式会社が保有しています。
2. 本製品の使用权の実施にあたっては以下の制約があります。
 - (1) ご使用は特定の1台のコンピュータで **ADVC-200TV** と共に使用される場合に限りです。ただし、上記ご利用の場合にのみ本製品をバックアップのために複製することができます。この目的以外の「複製、複写」はできません。
 - (2) ソフトウェアの著作権(ソースコード)をお客様に開示し、利用いただくことはありません。また、ソフトウェアの解析、リバースエンジニアリングなどはできません。
 - (3) 本製品は日本国内でご利用いただくよう設計されています。国外でのご使用については動作確認を行っておらず、サポートなどのサービスができません。
 - (4) お客様の誤操作、ハードウェアの故障、ソフトウェアの瑕疵などが原因で、コンピュータに保存したデータが損傷した場合、弊社は理由の如何にかかわらずこれを補償することはできません。ご使用に際しては事前のバックアップをお薦めします。
 - (5) 人命に関わる機能を有する機器、非常に高い信頼性や安全性を必要とする機器としての使用は想定していません。このようなご利用に関する損害に関して直接、間接を問わず弊社は一切の責任を負いません。

以上、ご使用にあたって「制約」のあることをご理解・ご同意ください。

お客様が本製品のインストールを実行された時点で、上記、ソフトウェア使用許諾上の制約事項にご同意いただいたものとさせていただきます。

動作環境について

ADVC Controller をお使いになるには、下記の環境が必要です。

対応機種	Power PC G3 600MHz以上を搭載、もしくは Power PC G4 466MHz以上を搭載した Machintosh シリーズ および Power Mac G5 録画時に MPEG-4 等の圧縮を行う場合などには、Power PC G4 で、L3 キャッシュ搭載の機種を推奨します。 (アップグレードカード、アクセラレータはサポートされません。)
対応 OS	Mac OS X 10.2.4 以降 ¹ お使いのシステムが、Mac OS X 10.2.4 ~ 10.2.8 の場合は Mac OS X 10.2.8 でのご使用を、Mac OS X 10.3 以降の場合は Mac OS X 10.3.1 でのご使用を推奨します。 iMovie はバージョン 3.0.2 以降 ² でご使用ください。
メモリ	256MB 以上
その他	ADVC-200TV を単独で接続するためのコンピュータ本体の FireWire ポート (ADVC-200TV をコンピュータに接続する場合は、コンピュータ本体の FireWire ポートに直接接続してください。FireWire ハブを含めた他の FireWire 機器と ADVC-200TV をデジチェーン等で接続しないでください。)

1: このマニュアルでは「Mac OS X 10.2.4 以降」のことを「Mac OS X」と記載しています。

2: このマニュアルでは「iMovie バージョン 3.0.2 以降」のことを「iMovie」と記載しています。

上記の条件を満たしている場合でも、コンピュータ本体の問題によって正常に動作しない場合があります。また、記載されている条件を持たしているすべてのコンピュータでの動作を保証するものではありません。

ご使用になる時の注意事項

ADVC Controller をご使用になる場合は、下記の点に注意してください。

1. **ADVC Controller** をご使用いただく場合は、**ADVC-200TV** 本体底面にあるモード切替ディップスイッチの [Operation Mode] を「PCモード」に設定しておいてください。ディップスイッチの設定については、『**ADVC-200TV** ユーザーズマニュアル』をご覧ください。
2. **ADVC Controller** をご使用いただく場合は、**ADVC-200TV** とコンピュータと FireWire ケーブルで接続し、先に **ADVC-200TV** 本体の電源を入れてから、コンピュータを起動させてください。コンピュータとの接続方法およびディップスイッチの設定については、『**ADVC-200TV** ユーザーズマニュアル』をご覧ください。
3. **ADVC Controller** をご使用いただく場合は、**ADVC-200TV** とともに使用する機器に関する制限事項や注意事項を必ず守ってください。各機器に付属のマニュアルやコンピュータ本体に付属のマニュアル等を併せてご覧ください。
4. **ADVC Controller** の動作中に、**ADVC-200TV** の電源を切ったり、接続している FireWire ケーブルを抜いたりしないでください。
万一、そのような状況になった場合は、一旦、**ADVC Controller** を終了させてください。
5. ご使用のコンピュータの性能によっては、録画中にプレビュー画面の表示がコマ落ちして見えることがあります。これは、録画データをコマ落ちすることなくファイルへ記録させるために、プレビュー画面の表示の処理が間に合わなくなることによって発生する現象ですが、録画自体は正常に行われており、異常ではありません。
6. **ADVC Controller** の動作中は、できるだけ他のソフトウェアを同時に使用しないでください。例えば、iTunes のインターネットラジオを再生していると、画像のコマ落ちなどが発生しやすくなります。
7. **ADVC Controller** Ver.1.1 では、連続録画が可能な時間は「最大4時間まで」となっています。
iMovie には取扱可能なファイルサイズが「2GBまで」という制限がありますので、**ADVC Controller** で録画したファイルを iMovie で取り込む場合は、ファイルサイズが2GBを超えないように注意してください。
8. 録画中に録画保存先に設定したハードディスクドライブの容量がなくなった場合、**ADVC Controller** は「保存先の空き容量が不足したため、録画が中断されました。」というダイアログを表示して録画を終了します。

ADVC Controller に関連するアプリケーションを以下の手順でインストールします。

ADVC Controller をインストールする

- 1 コンピュータのシステムを起動して、CD-ROM ドライブにインストール CD-ROM 「ADVC Controller」をセットします。



ダウンロードされた場合は、「ADVC Controller」のディスクイメージを展開させてください。

- 2 インストーラのアイコンをダブルクリックして起動します。

・認証画面が表示された場合は、管理者パスワードを入力して [OK] をクリックします。



ADVC Controller 1.1
Installer

- 3 インストーラが起動すると右図のウィンドウが表示されますので、[インストール] をクリックします。



- 4 インストールが開始されます。

・ソフトウェアは、起動ディスクのアプリケーションフォルダ内にインストールされます。

- 5 しばらくすると、「インストールが完了しました」というウィンドウが表示されます。これでインストールは完了です。[終了] をクリックしてください。

- 6 ソフトウェアが正しくインストールされているかを確認します。

・インストールされた「ADVC Controller」フォルダを開いて、下図の3つのアプリケーションソフトウェアが存在していることを確認します。



ADVC Controller



ADVC Reserver



ADVC Starter



ADVC Controller は、映像を見る・録画を行う・再生するといったことを行うアプリケーションです。ADVC Reserver は、予約録画の設定を行うためのアプリケーションです。ADVC Starter は、予約録画を行うために ADVC Controller を起動させるアプリケーションです。

引き続き、予約録画を行うために必要な「ADVC Starter」の設定を行います。次ページに進んでください。

ADVC Starter の設定を行う

予約録画を行うためには、「**ADVC Starter**」を起動項目に設定する必要があります。
お使いのシステムが Mac OS X 10.3 以降の場合はこのあとの「Mac OS X 10.3.x での設定」
の手順を、Mac OS X 10.2.4～10.2.8 の場合は次ページの「Mac OS X 10.2.x での設定」の手
順を参照してください。

Mac OS X 10.3.x での設定

- 1 「システム環境設定」の「システム」から「アカウント」をクリックします。
- 2 「アカウント」ウィンドウが現れますので、[起動項目] をクリックします。
- 3 次に、「+」をクリックします（下図を参照）。



- 4 起動項目を追加するためのウィンドウが現れますので、「アプリケーション」の「**ADVC Controller**」フォルダから「**ADVC Starter**」を選び、[追加] をクリックします。
- 5 「アカウント」ウィンドウに戻りますので、「**ADVC Starter**」が項目に加わっていることを確認し、システムを再起動させてください。

Mac OS X 10.2.x での設定

1 「システム環境設定」の「パーソナル」から「ログイン項目」をクリックします。

2 「ログイン項目」ウインドウが現れますので、[追加...]をクリックします（下図を参照）。



3 ログイン項目を追加するためのウインドウが現れますので、「アプリケーション」の「**ADVC Controller**」フォルダから「**ADVC Starter**」を選び、[追加]をクリックします。

4 「ログイン項目」ウインドウに戻りますので、「**ADVC Starter**」が項目に加わっていることを確認し、システムを再起動させてください。

ADVC Controller をご使用いただく場合は、ADVC-200TV とコンピュータとの接続を済ませておいてください。コンピュータとの接続方法については、『ADVC-200TV ユーザーズマニュアル』および、各機器に付属のマニュアルをご覧ください。



ご使用いただく場合は、ADVC-200TV 本体底面にあるモード切替ディップスイッチの[Operation Mode]を「PCモード」に設定しておいてください。ディップスイッチの設定については、『ADVC-200TV ユーザーズマニュアル』をご覧ください。



ハードディスクドライブを接続する際は、ハードディスクドライブのインターフェイスの制限事項や注意事項を必ず守ってください。また、コンピュータ本体に付属のマニュアル等を併せてご覧ください。



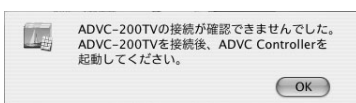
ADVC Controller の動作中は、できるだけ他のソフトウェアを同時に使用しないでください。例えば、iTunes のインターネットラジオを再生していると、画像のコマ落ちなどが発生しやすくなります。

1. ADVC Controller の起動

1 ADVC Controller のアイコンをダブルクリックします。



ADVC-200TV がコンピュータに接続されていない状態で ADVC Controller を起動させようとする時、右図のような表示が現れます。ADVC Controller は、ADVC-200TV をコンピュータに接続してから起動させてください。



2 ADVC Controller が起動します。

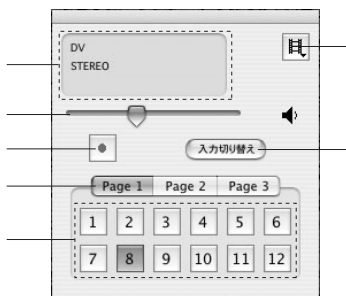
・モニタのウィンドウとともに下図のようなコントローラ画面が表示されます。



ADVC Controller の設定については、それぞれの設定手順を参照してください。

コントローラ画面について

ADVC Controller のコントローラ画面を使って、チャンネルを切り替えたり、キャプチャや再生を実行します。

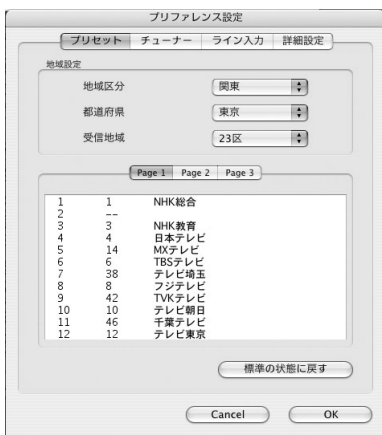


入力モード表示	<p>表示エリアの最上段に、現在選ばれている入力モードが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・TV モード 選局されているチャンネルが表示されます ・Line In モード 「Line In」と表示されます ・DV モード 「DV」と表示されます <p>モードの切り替えは「入力切り替えボタン」で行います。</p>
音量調節バー	<p>スライダをスライドさせて音量を調節します。</p>
キャプチャボタン	<p>このボタンをクリックして、キャプチャ(録画)の開始・停止を行います。</p> <p>録画を開始する時は <input type="checkbox"/> ボタンを、停止する時は <input type="checkbox"/> ボタンをクリックします。詳しくは、P15「4. 録画する」を参照してください。</p>
ページ	<p>チャンネルを選ぶためのページを選択します。</p> <p>1ページにつき 12 チャンネル分の設定ができます。</p>
チャンネル	<p>キャプチャ(録画)やプレビューを実行するチャンネルを選択します。</p> <p>チャンネルの設定については、P13「2. チャンネルを設定する」をお読みください。</p>
再生ファイル選択ボタン	<p>キャプチャ(録画)したファイルを再生する場合は、このボタンをクリックして録画ファイルを選択します。詳しくは、P16「5. 再生する」を参照してください。</p>
入力切り替えボタン	<p>このボタンをクリックして、入力モードの切り替えを行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・TV モード TV アンテナから入力します ・Line In モード ビデオデッキなどの外部機器から入力します ・DV モード DV 機器から入力します

2. チャンネルを設定する

お使いの地域に合わせて、**ADVC Controller** のチャンネル設定を行います。チャンネル設定を行う前に、ADVC-200TV とアンテナとの接続を済ませておいてください。

- 1 **ADVC Controller** メニューから「環境設定 ...」を選択します。
- 2 プリファレンス設定画面が表示されますので、[プリセット] タブを選択します。



- 3 [Page 1] [Page 2] [Page 3] のいずれかをクリックし、チャンネル設定を行うページを選択します。
- 4 お使いの場所にあった [地域区分] [都道府県] および [受信地域] を選択してください。
該当する受信エリアがない場合は、近い場所を選択してください。チャンネルはあとから変更、調整することができます。
- 5 チャンネルリストの設定内容を確認し、[OK] をクリックしてください。
・チャンネルリストの設定内容を変更する場合は、P20 「プリセット - チャンネルを変更する」を参照してください。
- 6 チャンネルが設定されます。

3. 映像を見る

テレビ映像を見る

ADVC-200TVとアンテナが接続されており、**ADVC Controller**のチャンネル設定を行っていれば、テレビを見ることができます。

- 1** コントローラ画面の [入力切り替えボタン] で、「TV モード」に切り替えます。
- 2** モニタのウィンドウにテレビの映像が表示されます。
- 3** 必要に応じて、コントローラ画面の [チャンネル] をクリックして選局します。

外部機器の映像を見る

ADVC-200TVとアナログビデオデッキなどの外部機器を接続すれば、**ADVC Controller**で外部機器の映像を見ることができます。

- 1** コントローラ画面の [入力切り替えボタン] で、「Line In モード」に切り替えます。
- 2** モニタのウィンドウに外部機器からの映像が表示されます。

DV 機器の映像を見る

ADVC-200TVとDVカメラなどのDV機器を接続すれば、**ADVC Controller**でDV機器の映像を見ることができます。

- 1** コントローラ画面の [入力切り替えボタン] で、「DV モード」に切り替えます。
- 2** モニタのウィンドウにDV機器の映像が表示されます。

4. 録画する

ADV C Controller のモニターで表示している映像を録画することができます。

ここでは、テレビ映像を録画する手順を例に説明します。ビデオデッキなどの外部機器や DV 機器の映像を録画する場合は、入力モードを切り替えてください。


1 コントローラ画面の [入力切り替えボタン] で「TV モード」に切り替え、モニターにテレビの映像を表示させます。

2 コントローラ画面の [チャンネル] をクリックして、録画したいチャンネルを選局します。

3 コントローラ画面の [キャプチャボタン : ] をクリックすると録画が始まります。




初期設定のままお使いの場合、録画するデータファイルの保存先には、システム起動ディスクの「書類」フォルダが指定されています。データファイルの保存先指定は、「プリファレンス設定」の「詳細設定」で変更することができます。詳しくは、P23「録画ファイルの保存先設定」を参照してください。

4 録画を実行中は、モニターのウインドウのタイトルバーに「録画中...」と表示され、コントローラ画面の [キャプチャボタン] が  になります。



ご使用のコンピュータの性能によっては、録画中にプレビュー画面の表示がコマ落ちて見えることがあります。これは、録画データをコマ落ちすることなくファイルへ記録させるために、プレビュー画面の表示の処理が間に合わなくなることによって発生する現象ですが、録画自体は正常に行われており、異常ではありません。

5 録画を停止するには、コントローラ画面の [キャプチャボタン : ] をクリックします。

これで録画は完了です。録画したデータファイルが作成されます。

5. 再生する

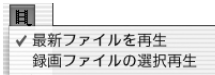
ADVC Controller で録画した映像を再生することができます。

最新ファイルを再生

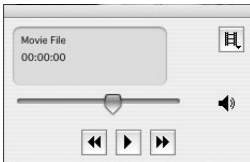
最新の録画ファイルデータを再生します。

1 コントローラ画面の [再生ファイル選択ボタン] をクリックします。

2 下図の表示が現れますので、「最新ファイルを再生」を選択します。



3 コントローラ画面は、下図のように切り替わります。



4 [再生開始ボタン：▶] をクリックすると、モニタに最新の録画ファイルが再生されます。

- ・再生中のモニタのウィンドウには、タイトルバーに録画ファイルの名称が、ウィンドウの下部に再生の進行具合を示すバーが表示されます。

5 再生中は、コントローラ画面の [再生開始ボタン] が [一時停止ボタン：⏸] になります。巻き戻す場合は ◀ ボタンを、早送りをするには ▶ ボタンを押し続けてください。

録画ファイルの選択再生

既存の録画ファイルを選んで再生します。

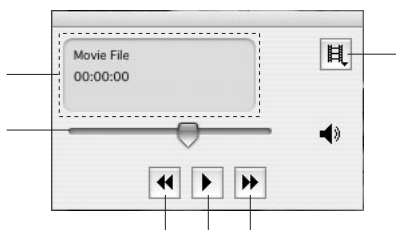
- 1 「最新ファイルを再生」の手順と同様に、コントローラ画面の[再生ファイル選択ボタン]をクリックします。
- 2 「録画ファイルの選択再生」を選択します。
- 3 再生するファイルを選ぶための「開く」というウィンドウが現れます。録画ファイルを選択し[開く]をクリックします(下図を参照)。



- 4 コントローラ画面の[再生開始ボタン: ▶]をクリックすると、モニタに手順 3 で選択した録画ファイルが再生されます。
 - ・再生中のモニタのウィンドウには、タイトルバーに録画ファイルの名称が、ウィンドウの下部に再生の進行具合を示すバーが表示されます。
- 5 再生中は、コントローラ画面の[再生開始ボタン]が[一時停止ボタン: ||]になります。巻き戻す場合は ◀ ボタンを、早送りをするには ▶ ボタンを押し続けてください。

再生時のコントローラ画面について

ADVC Controller のコントローラ画面は、再生時に下図のように切り替わります。



表示部	録画ファイルのファイル形式と再生の進行時間が表示されます。
音量調節バー	スライダをスライドさせて音量を調節します。
巻き戻しボタン	巻き戻しを実行する時に、このボタンをクリックします。
再生開始 / 一時停止ボタン	このボタンをクリックして、再生の開始・一時停止を行います。再生を開始する時は▶ボタンを、一時停止する時は⏸ボタンをクリックします。
早送りボタン	早送りを実行する時に、このボタンをクリックします。
再生ファイル選択ボタン	キャプチャ(録画)したファイルを再生する場合は、このボタンをクリックして録画ファイルを選択します。詳しくは、P16「5.再生する」を参照してください。

プリファレンス設定について

ここでは、**ADVC Controller** のプリファレンス設定について説明します。

プリセット - チャンネルを追加する

ADVC Controller の地域チャンネル設定で自動的に割り当てられなかったチャンネルを追加登録します。

1 **ADVC Controller** メニューから「環境設定 ...」を選択します。

2 プリファレンス設定画面が表示されますので、[プリセット] タブを選択してください。



3 ページを選択し、チャンネルリストから追加登録したいチャンネルを選んでダブルクリックします。

右図では、プリセットチャンネルの「1」「5」「9」に追加登録が可能です。

- ・図ではプリセットチャンネルの「5」に登録する手順を説明しています。

4 「チャンネル設定」画面が現れますので、「受信チャンネル設定」にチェックを入れ、受信可能なチャンネルの設定を行います。

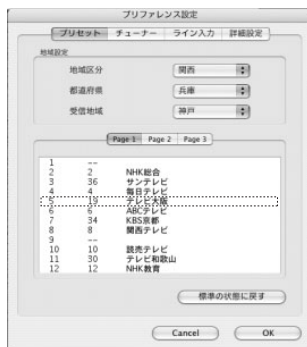
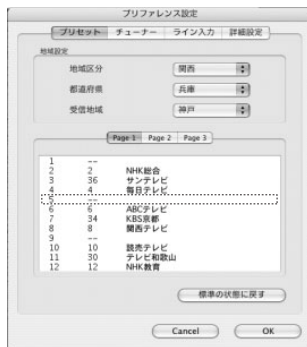
放送が受信できるチャンネルは、新聞のテレビ欄などに掲載されていますので参照してください。

- ・「受信チャンネル」は、 ボタンで設定します。
- ・微調整が必要な場合は、「微調整」のバーのスライダ、もしくは  ボタンで設定します。
- ・「表示名」には、チャンネルに付ける名称（放送局名など）を入力します。

5 設定が済めば、[OK] をクリックしてください。



6 チャンネルリストに追加登録したチャンネルが表示されていることを確認し、[OK] をクリックしてください。

これでチャンネルの追加登録は完了です。



プリセット - チャンネルを変更する

自動設定されたチャンネルの表示名、受信チャンネルの変更やチャンネルの微調整を行います。

- 1** **ADVC Controller** メニューから「環境設定...」を選択します。
- 2** プリファレンス設定画面が表示されますので、[プリセット]タブを選択してください。
- 3** ページを選択し、チャンネルリストから変更したいチャンネルを選んでダブルクリックします。
- 4** 「チャンネル設定」画面が現れますので、「受信チャンネル設定」にチェックを入れ、チャンネルの設定を変更します。
 - ・「受信チャンネル」は、 ボタンで設定します。
 - ・微調整が必要な場合は、「微調整」のバーにあるスライダ、もしくは  ボタンで受信状態が改善するようにチャンネルの微調整を行います。
 - ・「表示名」には、チャンネルに付ける名称（放送局名など）を入力します。
- 5** 設定が済めば、[OK]をクリックしてください。
- 6** [プリセット]タブのチャンネルリストに設定を変更したチャンネルが表示されていることを確認し、[OK]をクリックしてください。

これでチャンネルの変更は完了です。

チューナー

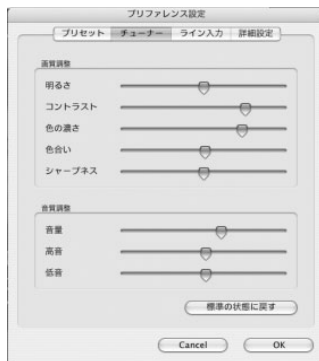
チューナー入力時の明るさ、コントラスト、色の濃さ、色合い、シャープネスなどの画質調整と音量、高音、低音などの音質調整を行います。

1 **ADVC Controller** メニューから「環境設定...」を選択します。

2 プリファレンス設定画面が表示されますので、[チューナー]タブを選択してください。

3 右図のような画面が現れますので、各項目のスライダをスライドさせて調整します。

4 調整が済めば、内容を確認して[OK]をクリックしてください。



ライン入力

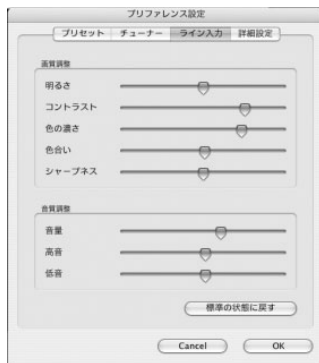
ライン入力時の明るさ、コントラスト、色の濃さ、色合い、シャープネスなどの画質調整と音量、高音、低音などの音質調整を行います。

1 **ADVC Controller** メニューから「環境設定...」を選択します。

2 プリファレンス設定画面が表示されますので、[ライン入力]タブを選択してください。

3 右図のような画面が現れますので、各項目のスライダをスライドさせて調整します。

4 調整が済めば、内容を確認して[OK]をクリックしてください。



詳細設定

キャプチャー時のオーディオ設定

キャプチャー時のオーディオ設定を行います。

Locked Audio Modeの有無、オーディオ周波数の選択、ステレオ固定出力、音声切り替え等の設定を行います。

1 **ADVC Controller** メニューから「環境設定...」を選択します。

2 プリファレンス設定画面が表示されますので、[詳細設定] タブを選択してください。

3 右図のような画面が現れますので、下記を参照のうへ、「キャプチャー時のオーディオ設定」の各項目を設定してください。

・Locked Audio Mode

Locked Audio Mode の有無を選択します。



ADVC Controller は音声を映像の速度に合わせて正確にデジタル化する Locked Audio を採用しました。映像と音声データをシンクロさせることにより、アナログ入力で音声が遅延することがありません。映画などの長時間のコンテンツをコンバートする場合も安心です。

なお、Locked Audio 機能はアナログから DV に変換する場合のみ有効です。DV-DV の接続時には機能しません。

・サンプリングレート

オーディオ周波数を選択します。



48kHz16 ビットモード オーディオデータを48kHz16ビットのステレオ音声で記録します。DAT と同等の音質で記録することができます。

32kHz12 ビットモード 32kHz12ビット4chの音声信号を持った記録モードです。録音時は、メインの2chのみ記録し、サブの2chは無音となります。

・バイリンガル設定

音声の出力モードを設定します。

主音声・副音声 L-chに主音声(MAIN)、R-chに副音声(SUB)がキャプチャされます
 主音声 L-ch、R-chに主音声(MAIN)がキャプチャされます
 副音声 L-ch、R-chに副音声(SUB)がキャプチャされます

4 設定が済めば、内容を確認して [OK] をクリックしてください。



録画ファイルの保存先設定

キャプチャ（録画）したデータファイルの保存先フォルダの設定を行います。



録画ファイルの保存先設定の初期設定は、起動ディスクの「書類」フォルダです。

- 1** **ADV C Controller** メニューから「環境設定...」を選択します。
- 2** プリファレンス設定画面が表示されますので、[詳細設定] タブを選択してください。
- 3** 「録画ファイルの保存先」の「保存先フォルダ」をクリックし、「その他...」を選択します（下図を参照）。



- 4** フォルダ選択の画面が現れますので、保存先のフォルダを選択し、[開く] をクリックします。
- 5** 保存先フォルダに、さきほど選択したフォルダが反映されていることを確認して [OK] をクリックします。

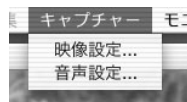
メニューについて

ここでは、**ADVC Controller** のメニューについて説明します。

キャプチャー：映像設定

キャプチャーメニューの「映像設定」でキャプチャを実行する際の映像の圧縮方式などを設定します。

キャプチャーメニューから「映像設定...」を選択すると、下図のような「ビデオ」ウィンドウが現れます。
必要に応じて、圧縮方式、プレビューなどの設定を行ってください。



キャプチャーメニューで設定した内容は、キャプチャ実行時に反映されます。リアルタイムのプレビュー時（「映像を見る」の状態）には反映されませんのでご注意ください。

圧縮

キャプチャを実行する際の画像圧縮方式、および圧縮方式に伴う各種の設定を行います。

1 「ビデオ」ウィンドウの [圧縮] タブを選択します (下図を参照) 。

2 必要に応じて、設定を行ってください。



圧縮方式選択メニュー	キャプチャ実行時の圧縮方式を選択します。
圧縮時の調節	圧縮方式に応じて、キャプチャ実行時の品質、深さ (階調) などを調節します。
動作	圧縮方式に応じて、キャプチャ実行時の動作に関する設定を行います。

圧縮方式の選択について

ADV C Controller は、動画取り込みにあたって、QuickTime で用意されている圧縮アルゴリズムを採用しており、取り込む動画の用途に応じ、適切な圧縮方式を選ぶことができます。**ADV C Controller** では、「MPEG-4」と「DVC/DVCPRO - NTSC」の2つの圧縮方式を推奨します。取り込むデータの用途に応じた圧縮方式を選択してください。

- ・ MPEG-4 取り込んだ映像を記録・保管する場合
- ・ DVC/DVCPRO - NTSC 取り込んだ映像をビデオ編集ソフトで編集する場合



MPEG-4 は、国際標準化機構 (ISO) 内のワーキンググループである Moving Picture Experts Group (MPEG) が策定した規格で、MPEG-1、MPEG-2 に続く高画質・高圧縮を実現する規格です。高度な圧縮技術を用いることで、画像データの再利用に便利です。MPEG-4 を使用する場合は、QuickTime 6 以上が必要です。

DVC/DVCPRO - NTSC は、家電メーカーが共同で策定した規格で、DVカメラ等で使用される記録方式です。MPEG規格と比べると圧縮率が低い代わりに、ビデオ編集作業を考慮した規格となっており、Final Cut Pro などのビデオ編集ソフトで直接ビデオソースとして使用することができます。

3 設定が済めば、[OK] をクリックします。

ソース

キャプチャを実行する際のソース（取り込み元）の確認を行います。

- 1 「ビデオ」ウインドウの[ソース]タブを選択します。
- 2 ソース（取り込み元）が「ADVC-200TV」であることを確認し、[OK]をクリックします。

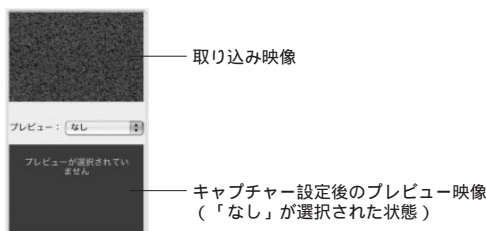


ADVC Controller は、ADVC-200TV用のソフトウェアのため、ソース（取り込み元）は「ADVC-200TV」となります。

プレビュー

キャプチャーメニューで設定した内容をプレビューで確認することができます。

- 1 「ビデオ」ウインドウの右側にあるプレビューエリアの[プレビュー]からメニューを選択します。
- 2 プレビューのメニューをはさんで、上段に取り込み映像が、下段にキャプチャー設定後のプレビュー映像が表示されます。



● 各メニューごとのキャプチャー設定後のプレビュー映像例



図は、何も映っていない状態のテレビ映像(俗にいう「砂の嵐」)を取り込み映像としています。

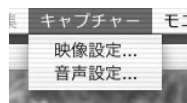
- 3 プレビューでの確認が済めば、[OK]をクリックします。

キャプチャー：音声設定

キャプチャーメニューの「音声設定」でキャプチャを実行する際の音声に関する設定を行います。

キャプチャーメニューから「音声設定...」を選択すると、「サウンド」ウィンドウが現れます。

必要に応じて、音声に関する設定を行ってください。



キャプチャーメニューで設定した内容は、キャプチャ実行時に反映されます。リアルタイムのプレビュー時（「映像を見る」の状態）には反映されませんのでご注意ください。

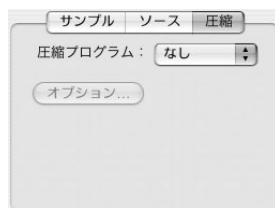
圧縮

キャプチャを実行する際の音声圧縮方式、および圧縮方式に伴う各種の設定を行います。

1 「サウンド」ウィンドウの[圧縮]タブを選択します（右図を参照）。

2 必要に応じて、圧縮プログラムを選択し、選択した方式に応じた設定を行います。

3 設定が済めば、[OK]をクリックします。



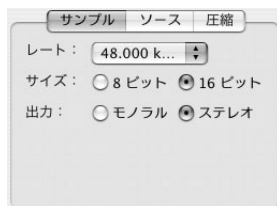
サンプル

キャプチャを実行する際の音声サンプルレートなどの設定を行います。

1 「サウンド」ウィンドウの[サンプル]タブを選択します（右図を参照）。

2 必要に応じて「レート」を選択し、「サイズ」「出力」の設定を行います。

3 設定が済めば、[OK]をクリックします。



ソース

キャプチャを実行する際の音声ソースの設定を行います。

- 1 「サウンド」ウィンドウの[ソース]タブを選択します(下図を参照)。



- 2 リストからソースを選択します。

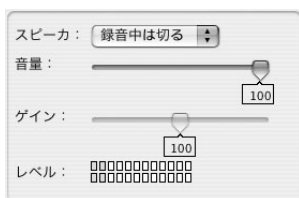
- ・ADVC-200TVよりサウンドを取り込む場合は、[DVオーディオ]の[最初の2チャンネル]を選択してください。

- 3 設定が済めば、[OK]をクリックします。

スピーカ

スピーカに関する設定を行います。

- 1 「サウンド」ウィンドウの右側のエリアでスピーカに関する設定を行います。



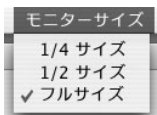
- 2 [スピーカ]からメニューを選択します。「音量」「ゲイン」は、スライダをスライドさせて調整してください。「レベル」には、設定した状態がイコライザ表示されます。

- 3 設定した内容を確認し、[OK]をクリックします。

モニターサイズ

モニターサイズメニューでデスクトップに表示されるプレビューモニタのサイズを変更することができます。

モニターサイズメニューから表示させたいサイズを選択します。
必要に応じて、モニターサイズを変更してください。



モニターサイズの比率を比較すると下図のようになります。



モニターサイズを変更すると、録画する画面サイズにも反映されます。DV 編集等を行う場合は、フルサイズでのご使用を推奨します。

ムービー

ADVC-200TVを介してコンピュータ(ハードディスクドライブ)上のムービーデータをビデオデッキやビデオカメラに送信し再生することが可能です。



ここでいうムービーデータは、DV形式のデータファイルのみを指します。MPEG-4データなどの再生時は、ビデオデッキやビデオカメラなど(ADVC-200TV本体側)への出力はできません。

このメニューは、**ADVC Controller**の再生時に選択可能になります。



ムービーデータをビデオデッキやビデオカメラで再生させる

- 1** コンピュータ本体とADVC-200TV、ビデオデッキなどの出力機器を正しく接続してください。
- 2** **ADVC Controller**を起動し、出力機器で再生させるムービーデータを選択します。
- 3** ムービーメニューの「音声をADVCへ出力」をクリックし、チェック()を入れます。
- 4** ムービーデータを再生すれば、ビデオデッキやビデオカメラでも再生可能になります。



通常、ムービーメニューの「音声をADVCへ出力」にはチェックが入っていません。「音声をADVCへ出力」にチェックが入っていると、コンピュータでのムービーデータの再生時に音声が出力されませんのでご注意ください。

ADVC Reserver は、録画予約の設定を行うためのアプリケーションです。

ADVC Reserver をご使用いただくには、あらかじめ以下の設定を済ませておく必要があります。

- ・ **ADVC Controller** のインストール（詳しくは、P8 を参照）
- ・ **ADVC Controller** のチャンネル設定（詳しくは、P13 を参照）および、各種の設定（詳しくは、P19 を参照）
- ・ **ADVC Starter** の起動項目への追加設定（詳しくは、P9 を参照）

録画予約を行う

ADVC Reserver で録画予約の設定を行います。

1 **ADVC Reserver** のアイコンをダブルクリックします。

- ・ 下図のような **ADVC Reserver** ウィンドウが表示されます。

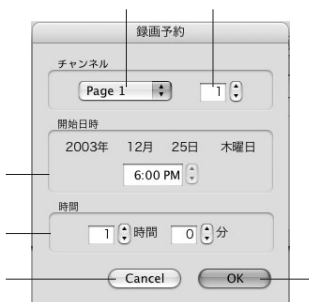





カレンダー： 年表示	カレンダーの「年」を西暦で表示します。表示の切り替えは、 ボタンで行います。
カレンダー： 月表示	カレンダーの「月」を表示します。表示の切り替えは、 ボタンで行います。
カレンダー： 日表示	録画予約を設定したり、設定済みの予約の変更や削除を行う時に該当する「日」をクリックして選択します。 録画予約が設定されている「日」は、表示エリアが赤色になります。
新規予約ボタン	録画予約を新規設定するボタンです。カレンダーで録画予約を行いたい「日」を選んでから、このボタンをクリックして設定を行います。
予約リスト	録画予約が設定されると、選択された「日」ごとの予約内容が一覧表示されます。設定済みの録画予約の変更や削除を行う場合は、この予約リストから該当する予約内容をクリックして選択します。

2 左側のカレンダー部分から、録画予約を行いたい「日」をクリックして選びます。

・カレンダーの「年」「月」は、 ボタンで切り替えます。

3 [新規予約] をクリックすると、「録画予約」画面が表示されます。



チャンネル： ページ選択	チャンネルを設定するために、このメニューから該当するページを選択します。
チャンネル： チャンネル設定	チャンネルを設定します。切り替えは、  ボタンで行います。
開始日時	録画開始の日付が正しいことを確認のうえ、録画開始の時刻を設定します。「時間」「分」「AM/PM」をそれぞれ設定してください。表示の切り替えは、  ボタンで行います。
時間	録画時間を設定します。「時間」と「分」の設定を  ボタンで表示を切り替えて行います。 連続録画が可能な時間は「最大4時間まで」となっています。
Cancel ボタン	設定をキャンセルする場合は、このボタンをクリックします。
OK ボタン	このボタンをクリックして、録画予約の設定内容を確定させます。



注 意

ADVC Reserver で予約設定した開始日時になると、**ADVC Starter** が **ADVC Controller** を起動させて録画を開始しますが、コンピュータ本体の性能や録画先に指定されたハードディスクドライブの性能・容量・インターフェイスの転送速度などの影響により、設定された開始時刻よりも数秒～十数秒遅れて録画が開始されます。録画開始時刻は少しゆとりをもって設定されることをお勧めします。

4 「チャンネル」「開始日時」「時間」の各項目を設定し、[OK] をクリックします。

・ **ADVC Reserver** ウィンドウに戻ると、予約リストにさきほど設定した録画予約内容が表示されます（次ページの図を参照）。



- 5** 予約リストの内容を確認し、**ADVC Reserver** ウィンドウを閉じます。

これで録画予約の設定は完了です。

- ・録画開始時刻にコンピュータ本体が起動していれば、予約した設定内容に応じて録画を行います。

予約録画に関する注意事項

録画予約の設定を行う場合や実際に予約録画を行う場合は、下記の点に注意してください。

- ・ **ADVC Reserver** の日付や時刻は、コンピュータ本体の日付や時刻の設定に依存します。録画予約を行う前に、コンピュータ本体の日付や時刻を正しく設定しておいてください。
- ・ 予約録画を行うには、**ADVC Reserver** で設定した録画開始時刻にコンピュータ本体が起動している必要があります。コンピュータが起動していてもスリープ状態の場合は、予約録画を実行できませんのでご注意ください。
また、録画開始時刻には、**ADVC-200TV** や録画保存先のハードディスクドライブの接続が完了し、電源を入れておく必要があります。
- ・ **ADVC Reserver** で予約設定した開始日時になると、**ADVC Starter** が **ADVC Controller** を起動させて録画を開始します。
- ・ **ADVC Reserver** で設定した録画開始時刻に **ADVC Controller** を使用していた場合は、**ADVC Reserver** で設定した予約録画が優先されます。このため、プレビューやリアルタイム録画など **ADVC Controller** を使用しての操作は中断されます。

録画予約設定の変更・削除

録画予約の設定内容を変更する

すでに録画予約済みの設定に対し、設定内容の変更を行います。

1 **ADVC Reserver** のアイコンをダブルクリックします。

・ 下図のような **ADVC Reserver** ウィンドウが表示されます。



2 カレンダー部分から、設定内容を変更したい録画予約済みの「日」をクリックして選びます。

・ 表示エリアが赤色になっている「日」は、録画予約が設定されています。

3 予約リストの中から内容を変更したい設定内容をクリックで選択し、[変更] をクリックします。

4 「録画予約」画面が表示されますので、設定内容を変更し、[OK] をクリックします。

・ **ADVC Reserver** ウィンドウに戻ると、予約リストには、変更された録画予約内容が反映されます。

これで録画予約設定の内容変更は完了です。

録画予約の設定を削除する

すでに録画予約済みの設定内容を削除します。

1 **ADVC Reserver** のアイコンをダブルクリックし、**ADVC Reserver** ウィンドウを表示させます。

2 カレンダー部分から、設定内容を削除したい録画予約済みの「日」をクリックして選びます。

・表示エリアが赤色になっている「日」は、録画予約が設定されています。

3 予約リストの中から予約を取り消したい設定内容をクリックで選択し、[削除] をクリックします。

・**ADVC Reserver** ウィンドウに戻ると、予約リストから削除された録画予約内容が消去されています。

これで録画予約の削除は完了です。

正常に動作しない場合など、トラブルが発生した時は、以下のことを確認してください。

? チャンネルを合わせても見たい放送が映らない。

チャンネルは正しく設定されていますか。

- ➡ ご使用になる地域によっては、テレビ放送のチャンネル割り当てが地域設定と異なる場合があります。そのような場合には、チャンネルの設定を手動で行っていただく必要があります。

? 画像は見えるが音声が届かない。

入力音源が「DV」になっていますか。

- ➡ お使いの機種によって入力音源の初期設定(デフォルト)が、マイク内蔵型のコンピュータなど、DV入力以外になっていることがあります。
メニューバーのキャプチャメニューから「音声設定...」を選んで、[ソース]タブを選択し、入力ソースを[DVオーディオ]の[最初の2チャンネル]に設定してください(P28を参照)。

? ムービーファイルの再生時に音声が届かない。

ムービーメニューの「音声をADVCへ出力」に、チェック(☑)が入っていませんか。

- ➡ ムービーメニューの「音声をADVCへ出力」にチェックが入っていると、コンピュータでのムービーデータの再生時に音声が出力されませんのでご注意ください。

? 圧縮方式に MPEG-4 を指定できない。

QuickTime 6以降がインストールされていますか。

- ➡ 圧縮方式に MPEG-4 を指定するには、QuickTime 6以降がインストールされている必要があります。
QuickTime 6以降がインストールされているか確認してください。インストールされていない場合はソフトウェア・アップデートを行うか、アップル社のホームページよりダウンロードしてインストールを行ってください。

? iMovie へ録画ファイルを読み込みたいが選択できない。

iMovieのバージョンによっては、録画ファイルに拡張子「.mov」が付けられている必要があります。

- ➡ 録画済みのファイルに拡張子がついていない場合は、読み込みたい録画ファイルのファイル名の最後に拡張子「.mov」を付けてみてください。iMovieのバージョンによっては、Finder上で拡張子を追加することでiMovieからの取り込みが可能になる場合があります。

? iMovie への録画ファイル取り込み時にファイルサイズが大きすぎて読み込めない。

録画ファイルのファイルサイズが2GBを超えていないか確認してください。

- ➔ iMovie の制限で、ファイルサイズ(容量)が2GB以上の録画ファイルは読み込むことができません。

? 録画した画像がコマ落ちする。

録画時の圧縮・ファイル書き込みが、画像入力に追いついていないことが考えられます。

- ➔ このような場合には、以下の設定をすることで改善が可能です。

- ・ 圧縮品質を低くする
- ・ 圧縮方式を変更する
- ・ 録画時の画像サイズを小さくする

この他、FireWireポートにデジーチェーンされた他の機器が、ADVC-200TVからの画像データの読み込みに影響する場合があります。デジーチェーンされた他の機器がコマ落ちの原因かどうかは、他の機器をFireWireポートから外して録画を試すことで確認できます。

? 録画予約を設定したが、録画が実行されていない。

コンピュータ本体は録画開始時刻に起動していましたか。

- ➔ 予約録画を行うには、**ADVC Reserver** で設定した録画開始時刻にコンピュータ本体が起動している必要があります。コンピュータが起動していてもスリープ状態の場合は、予約録画を実行できませんのでご注意ください。

また、録画開始時刻には、ADVC-200TVや録画保存先のハードディスクドライブの接続が完了し、電源を入れておく必要があります。

? 予約録画したファイルを再生すると、設定した時間より早く録画が終了していた。

録画ファイルの保存先のハードディスクドライブの空き容量が不足していませんか。

- ➔ 録画中に録画保存先に設定したハードディスクドライブの容量がなくなった場合、**ADVC Controller** は「保存先の空き容量が不足したため、録画が中断されました。」というダイアログを表示して録画を終了します。

録画や録画予約の設定は、ファイルの保存先に指定するハードディスクドライブの容量が十分に足りていることを確認してから実行してください。

カスタマサポートのご案内

もし、トラブルが解消しなかった場合は、製品を購入された販売店、もしくは弊社までご相談ください。

弊社では、「カスタマサポート」の専用回線を設置しております。お問い合わせは、下記あてにお願いします。

カスタマサポート専用回線

Tel. (078) 993-0010 Fax. (078) 997-6408

月曜日から金曜日まで（祝祭日、特定休業日は除く）

午前 10:00 ~ 12:00 午後 1:00 ~ 5:00

カスタマサポートの専用回線が混み合っている場合は、しばらくたってからおかけ直しいただくか、下記の電話番号あてにご連絡ください。

ヤノ電器株式会社

〒651-2242 神戸市西区井吹台東町7-3-1 Tel. (078) 993-0007

オンライン情報提供サービスのご案内

弊社では、インターネットを利用して、よりタイムリーな製品情報を提供しています。

- ・製品情報
- ・製品に関するQ&A
- ・ドライバソフトなどのソフトウェアのダウンロードサービス

Web : www.yano-el.co.jp

E-mail : info@yano-el.co.jp

ADVC Controller Ver.1.1 ユーザーズマニュアル

2003年 8月 8日第1版発行

2003年 12月 18日第2版発行

発行所

ヤノ電器株式会社
神戸市西区井吹台東町 7-3-1 (〒 651-2242)

落丁乱丁本はお取り替えます。

本マニュアルに記載された製品の仕様、本マニュアルの記載内容等は予告なく変更することがあります。



ヤノ電器株式会社
www.yano-el.co.jp